

WASEDA-EDGE 人材育成プログラム後援会 会員の皆様

平素より、本学のアントレプレナー育成事業に対し、多大なるご支援をいただきまして誠にありがとうございます。

2019 年度は、文部科学省からの EDGE-NEXT 補助金事業年度 3 年目として、2018 年度に行なったプログラム・試みを更に発展させ、様々な取り組みを行ないました。これまでの成果を基盤に、参加機関の強みや国内外の産学官の英知を結集して、専門的基礎能力を有し、鋭利な発想、体系的な方法論により新たな市場を開拓し、「グローバルリーダー」「地域貢献」を体現するアントレプレナー人材のすそ野拡大に向けた「Future-EDGE 人材」と、実際の起業・新規事業創出に向けた「EDGE-NEXT 人材」を文理融合で養成すべく、日々プログラム運営を行なっております。本報告書では、2019 年度に WASEDA-EDGE 人材育成プログラムで行なった取り組みの一部を紹介させていただいております。取り組みを広く公開させていただき、後援会の皆様方からのご意見を賜る機会ともさせていただきたく、忌憚のないご意見を頂戴できれば幸いです。

2020 年度も、新たなプログラムに取り組みより一層プログラムの充実に諮っていく予定であります。引き続き、ご支援の程、よろしくお願い申し上げます。

WASEDA-EDGE 人材育成プログラム
実行委員長 大野高裕

WASEDA-EDGE 人材育成プログラム 2019 年度報告

(1) 文部科学省次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXT)に係る中間評価 最高評点 S を獲得

早稲田大学主幹コンソーシアム(Skyward EDGE コンソーシアム)が実施する「EDGE-NEXT 人材育成のための共創エコシステムの形成」は、文部科学省「次世代アントレプレナー育成事業(EDGE-NEXT)」の中間評価において、最高の S 評価を受けました。

中間評価では、全 5 年間の補助事業期間うちの 2 年間の取組に対して、「進捗状況」、「取り組み状況」、「計画・改善手法の妥当性」、「今後の見通し」の観点から、総合的に評価されました。評価結果は、4つの指標のうち3つが S 評価であり、「所期の計画を越えた取組が行われている」という最高の総合評点 S でした。

評価コメントでは、「本プログラムの遂行により、アントレプレナー人材が育成され、エコシステム構築が期待される。特に平成 30 年度のイスラエルへの武者修行の成果発表会の成功は、本プロ

グラムの卓越性をも示している。多様な計画に対して実施機関はそれぞれ着実に取り組んでおり、成果が表れつつある。主幹機関のノウハウと経験が活かされ、協働機関に影響をもたらしている。当初計画に対して受講者数、起業・新規事業数、外部資金導入率等が、2年目にもかかわらず目標を大きく超えており、高く評価できる。早稲田大学の動きが突出しており、エコシステム形成に大きく貢献している点もすばらしい。大学間の連携や、学内で横断的に取り組んでいる点は評価でき、アジア地域の大学との連携にも特色がある。主幹機関・協働機関全機関で「起業家育成に関する大学間コンソーシアム連携協力に関する基本協定書」が締結されており、事業の継続性・発展性が期待される。」とコメントされています。

(2) 2019 年度実施アントレプレナー育成プログラム

アントレプレナー育成プログラムでは、全ての受講生を対象とした起業家意識を醸成するための「意識醸成」、主に将来起業および社内新規事業創出を担うであろう候補生を対象とした「教育のための実践」、主に実際に起業あるいは社内新規事業創出に取り組もうとしている受講生を対象とした「実践のための教育」の3つのトラックにより実施、起業希望者へは「実践への橋渡し」まで行いました。また、受講生のモチベーションの継続を目的にプログラムを横断しての取組成果発表として、第2回 WASEDA DemoDay(発表:21 チーム)を開催しました。ハードウェアアクセラレーターであるHAX Tokyoとのワークショップを開催し、技術系のシーズを保有している研究者や学生の更なる意識醸成を行いました。



(第2回 WASEDA DemoDay の模様)

① 意識醸成

カリフォルニア大学サンディエゴ校で実施されているマイクロ MBA を日本用にカスタマイズした「MicroMBA online」、メリーランド大学で実施されている起業家教育プログラムのエッセンスを小分けにして提供する「小分けプログラム」を実施しました。

- ・**MicroMBA online**:主に理系バックグラウンドの大学院生、学部生、ポスドク、若手サイエンティスト・エンジニア等を対象に、MBA レベルのビジネス知識を英語で講義するオンライン受講プログラムを全 6 日間で実施しました(受講者数:84 名)

- ・**小分けプログラム**:ビジネスに関心がなかった学生に対し、アントレプレナー精神と本プログラムへの興味を喚起すること目指し、理工系学部生の基礎科目(選択必修)の「国際知財政策 B」の中の 1 コマの枠で、「知財戦略と並行させる顧客価値の検証」と題した授業、また政治経済学部生の専門科目(選択)の「医療経済学」の中の 1 コマの枠で、「医療経済学向けデザイン思考に対するワークショップ」をテーマとした授業を担当講師が実施しました。平成 30 年度は理工系学生向けの授業のみでしたが、2019 年度は文系学生を対象とした授業でも実施することもできました。

② 教育のための実践

グローバルな起業・成長を想定してビジネスプランを作成する「スタートアップファクトリー」を実施しました。また、起業を検討する際のフレームワークを学ぶ「起業の技術:経営の 12 分野」、会社設立から解散までの一連の起業ライフサイクルをインターンとして体験させる教育プログラム「Real Entrepreneurship by Active Learning (REAL)」を実施しました。

- ・**スタートアップファクトリー**:2019 年度は海外集中講座「Entrepreneurship」と題して、参加者はボストンに出向き、現地でバブソン大学経営大学院の講師の最新の Entrepreneurship 分野のレクチャーを受けプレゼンテーションセッションを行いました。(受講者数:28 名)

- ・**起業の技術:経営の 12 分野**:起業の技術として経営に必要となる 12 個の要素を取り上げ、スタートアップの際に必要な事業計画立案に必要な手法を学ぶ授業を実施しました。(受講者数:78 名)

- ・**REAL**:2018 年度に取り組んでいた受講者が引続き取り組みました。各チームが取り組んだ事業はいずれも売上、利益を出すことに成功しました。(受講者数:15 名)

③ 実践のための教育

多摩美術大学と連携し、ラピッドプロトタイプング手法を導入したビジネスモデルの検証方法を教育する「リーンプロトタイプ仮説検証プログラム」として多摩美術大学×WASEDA-EDGE プログラム連携講座を実施しました。また、協働機関である滋賀医科大学と連携し「分野特化型ビジネスモデル仮説検証プログラム」として医療特化型ビジネスモデル仮説検証プログラムを実施しました。その他、富山県とも連携し富山県新規事業創造インターンシップや富山 1day プログラムを実施しました。

- ・多摩美術大学×WASEDA-EDGE プログラム連携講座: 前年度のデザイン系、文系、理系の学生が混合したグループでの取り組みや、リーダーシップ行動を促すチームビルディングによる学びの深化に加え、協働機関の教員に技術シーズ提供してもらうことで、よりコンソーシアムの特徴を活かしたプログラムとしました。(受講者数:28名)
- ・医療特化型ビジネスモデル仮説検証プログラム: 新規事業創出プロセスのうち、医療機器のアイデア発想からビジネスモデルの仮説検証までを対象としたプログラムを実施しました。2019年度は滋賀医科大学で実施する日程を増やし、医療従事者のニーズ調査により時間をかけることを可能としました。(受講者数:20名)
- ・富山県新規事業創造インターンシップ: 富山県における地域イノベーション、企業内新規事業創造に貢献できるアイデア創出を目指しました。早稲田大学生と参加企業(富山県内企業)がチームを組みワークショップと企業における実践(インターンシップ)を組み合わせた構成で、アイデア創出からビジネスモデルの検証までを、理論に基づいた緻密な手法により実践的に学びました。(受講者数:15名、参加企業:5社(ワークショップ参加者:1社につき各2名))



(富山県新規事業創造インターンシッププログラム ワークショップの様様)

・富山 1day プログラム:前年度に引き続き、富山県の社会人(製薬、薬品、設計、機械、電子、電力、新聞社等の多様な分野からの新規事業担当者が中心)、学生、教員を対象に、1 日終日のビジネスモデル仮説検証プログラムを実施しました。(受講者数:23 名)

・アントレプレナー育成海外武者修行プログラム:AI、ロボット、サイバーセキュリティ、及びそれらとの融合テクノロジーを基盤とする新規事業の立ち上げに挑戦したいとの高い志を有する人材に、国際的なビジネスへ展開できる素養と実践的スキルを習得させ、イスラエルの大学・研究機関・企業へ派遣・研修し、将来のグローバルリーダーを育成するプログラムを実施しました。

④ 実践への橋渡し

起業に必要な法務・税務・会計等の実務知識の習得、事業化がみえた段階から事業を起こすまでのサポートを目的とし、前年度に引き続き、「WASEDA-EDGE・ギャップファンド・プロジェクト」を実施しました。本プログラムは申請時には「共創館アクセラレーションプログラム」、「ハンズオン創業支援」にて実施予定した内容を含み、かつ、事業を起こすまでのサポート部分を強化したプロジェクトです。

・共創館アクセラレーションプログラム:共創館プログラムとして実施回ごとにテーマを変え実施しました。具体的には、商品開発や戦略立案の実務をテーマに企業と共催で、受講者が現役社員と共に新規事業立案に取り組むものや、外国人との共生をテーマにグローバルな環境でのコミュニケーションを外国人留学生と共に学ぶものを実施しました。

・WASEDA-EDGE・ギャップファンド・プロジェクト:自らの技術シーズの事業化を目指す修士以上の学生、研究者を「研究者枠」、研究者とともに事業化に向けてビジネスプランの構築等を担う学生を「事業育成者枠」として募集し、受講生は技術シーズを元にした事業化案を研修最終日の発表会に向けて練り上げました。なお、本プログラムは外部資金導入により実施しました。(受講者数:23 名)

上記①～④の下支えとして以下を実施しました。

⑤ コーチング

受講者の意識・モチベーションを高め、教育効果・受講効果を向上させるために実施しました。受講生のコーチングに対する習熟度によってコース選択を可能とし、具体的には、内発動機醸成、ビジョンメイキングを目的としたベーシックコース(受講者数:38 名)、リーダーシップ醸成を目的とした

アドバンスコース(受講者数:6名)を実施しました。なお、ベーシックコースは、2019年度春学期早稲田大学ティーチングアワード総長賞を受賞しました。

⑥ 各コンソーシアム協働機関におけるアントレプレナー育成プログラムの展開

(早稲田大学と Skyward EDGE コンソーシアムで協働機関として取り組む大学ほか)

主幹機関、協働機関、協力機関が実施するセミナーや研修では、8/28～30に山形県・飯豊町で行われた5大学合同WS「5大学の学生が力を合わせて地域イノベーションを起こす！」に本学の受講生が3名参加しました。



(5大学合同WS「5大学の学生が力を合わせて地域イノベーションを起こす！」の様態)

・滋賀医科大学:全4回シリーズの「医療特化型ビジネスモデル仮説検証プログラム」には、受講生2名が参加し、医学部附属病院の看護師3名が協力して医療現場のニーズを提供し、その解決策を考え、ビジネスモデル仮説検証を行いました。選択科目「医療イノベーションの基礎」には医学科1年生と2年生が45名参加し、その中から合同プログラム等に参加する展開に導くことができました。

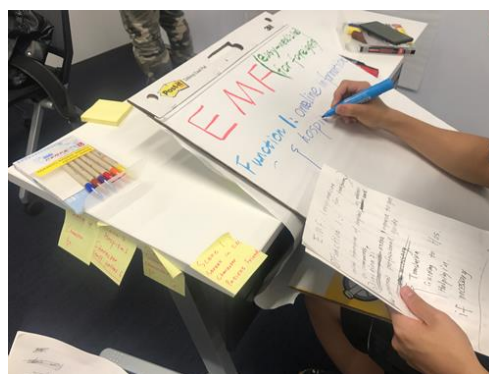
・東京理科大学:起業に関心がある初心者を対象とした学部生向けの各種講義、理科大の技術シーズを題材に専攻の異なる大学院生や学部生がチームを編成して事業化に取り組む「イノベーション・チーム・ラボ」、地域と連携し具体的な起業方法を教授する「かつしか創業塾」などの教育プログラムを実施するなかで、2019年度は特に「イノベーション・チーム・ラボ」の開講キャンパスを増やし、教育の全学展開を図りました。

・山形大学:「起業家育成教育プログラム(基礎編)・(実践編)」他、高大連携として県内の高校3校と人材育成の連携協定を締結。地方自治体含めた地域連携をさらに強化し若者の起業家精神醸成、大学生が中心となった地方創成を目指します。個別プログラムとして中高生向けイノベーションキャンプ(4日間)、基盤事業のシンポジウムを地域活性化イノベーションキャンプ(3日間)と同時開催しました。

(3) コンソーシアムおよび協力機関等との連携

海外機関との連携では、本コンソーシアムで開発したプログラムの国際展開として、中国重点大学群の学生を対象としたサマープログラムを平成 30 年度に引き続き早稲田大学にて開催して、コーチングやビジネスモデルイノベーションに関する 1 週間にわたるプログラムを実施しました(受講者数:35名)。また、サンフランシスコで開催されたスタンフォード大学 d.school が実施するワークショップに教員 1 名が参加し、デザイン思考を活用したイノベーター教育法について学び、実行委員会にて教職員へその内容を共有しました。またカンボジアではプノンペンにある RUA 大学(Royal University of Agriculture)を訪問し、今後の連携について打ち合わせました。

その他、Babson Collaborative のサミットへの参加を予定していましたが、新型コロナウイルス感染症の影響により、イベント自体が中止となりました。



(中国プログラムの模様)

(4)WASEDA-EDGE 人材育成プログラムの主催イベント等

開催日	内容
2020/2/13	第2回 WASEDA Demo Day
2020/1/10	【共創館】バブソン大学との共同ワークショップ 事前講習会 2019/12/12(木)
2019/11/22～24	Boot Camp for Mastering Debate and Negotiation in English
2019/12/7、12/14	【共創館】株式会社ニトリ共催 アプリ開発ワークショップ～デザイン思考を学び、実践する～
2019/11/15	【共創館】多様な外国人との共生と協働の時代のコミュニケーション 「EQ とローコンテクストをベースとした Leadership Communication と Global Collaboration」
2019/11/9	【共創館】株式会社ミスミ共催 戦略思考ワークショップ～戦略立案方法を学び、実践する～
2019/10/19	English Training for Pitch
2019/10/27	「ベンチャー立ち上げに必要なファイナンスと人事採用の知識とリアルな事例」を学ぶ
2019/10/19	【共創館】あなたは企業の分析や戦略立案をできますか??～ケースを通じて学ぶ、戦略策定ワークショップ～
2019/9/25～1/17 8回	多摩美術大学×WASEDA-EDGE プログラム連携講座 ビジネスアイデアの「表現力」を鍛えよう!
2019/6/27	Collaboration Seminar between CAMPUS Asia and WASEDA EDGE
2019/6/14	“Innovation to make the world a better place Challenges by Waseda’s front runners”
2019/6/14	【共創館】多様な外国人との共生と協働の時代のリーダーシップ・コミュニケーション
8/20～8/22 8/23～9/17 5日間 9/18～9/20	「2019年度 富山県新規事業創造インターンシッププログラム」 【第1回ワークショップ】8/20(火)～8/22(木) 【インターンシップ】8/23(金)～9/17(火)5日間 【第2回ワークショップ】9/18(水)～9/20(金)
2019/7/13、7/20	【共創館】株式会社ニトリ共催 商品開発ワークショップ～デザイン思考を学び、実践する～
2019/5/31	神奈川県立保健福祉大学 ヘルスイノベーション研究科&早稲田大学 WASEDA-EDGE 人材育成プログラム連携記念ワークショップ「自分で守る健康社会を目指して」

※WASEDA-EDGE 人材育成プログラムではほかにも多数の共催、協力イベントを実施しました。